

平成29年度 生活・自立支援キャンプ事業 子ども生き生き体験学習②

- 1 趣 旨 児童養護施設で生活する子供たちを対象に、自然体験活動や生活体験を通して、「生活・自立」を支援する取組を行うことにより、子供たちの基本的な生活習慣の確立をめざすとともに、自然を愛する心を育成する。
- 2 期 日 平成29年7月28日(金)～7月30日(日) 2泊3日
- 3 対 象 者 児童養護施設「慈光園」に入所している子供9人
- 4 募集定員 無し
- 5 参 加 者 12人(小学生9人 慈光園指導者3人)
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員
垂水市漁業協同組合職員



7 日程と主な活動

《1日目》 7月28日 (金)	13:15		14:30		15:00		16:30		20:00		21:00	
		慈光園から自然の家へ移動		入所 オリエンテーション アイスブレイク		《体験》 プラホビー		《生活》 夕食作り(カレー) 夕食 後片付け シャワー		《体験》 肝試し		

《2日目》 7月29日 (土)	6:30	7:00	9:00	9:30	12:30	13:30	16:30	20:00	21:00
	起床	《生活》 つどい 朝食	自然の家から垂水市漁協へ移動	《体験》 カンパチ養殖場漁協見学 漁業体験	昼食 漁協食堂	《体験》 カヌー体験	《生活》 夕食作り(焼肉) 夕食 後片付け シャワー	《体験》 星空観察 夏休みの学習	

《3日目》 7月30日 (日)	6:30	7:00	9:00	11:30	12:00	13:00		
	起床	《生活》 つどい 朝食	《体験》 スポーツクライミング シャッフルボード RDチャレンジ	感想 アンケート ふりかえり 別れのつどい	《生活》 つどい 昼食 レストラン	慈光園へ		

8 事業運営上の配慮

- (1) 子供たちのあいさつや返事などの基本的な生活習慣の確立や自立心の育成に貢献できるよう心がけた。また、海での活動があったので、子供たちの安全確保に努めた。
- (2) 垂水市漁業協同組合の協力の下、漁船乗船や養殖カンパチへのえさやりを体験し、漁業関係の仕事に従事している方々の苦勞や工夫を学ぶことでキャリア教育の一端となるよう工夫した。



9 参加者の感想

(小学生)

- カヌー体験で力がついた。リズム感が整った。
- 自然がいっぱいあって、来てよかったと思った。
- 3日間を通して子供たちの新たな発見や一人一人の課題を見つけることができた。

(慈光園指導者)

- 一人一人の成長や課題を改めて実感するところや自分に足りない部分など振り返る場になった。



10 成 果

- 調理やカヌー体験、クライミングを通して協調性や忍耐力が養われ、満足度も高いものとなった。
- あいさつや返事など基本的な生活習慣が身に付いている子供たちがほとんどで、話を聞く態度も良かった。
- 漁業関係の仕事に従事している方々の仕事ぶりを見学することで仕事をする際の苦労や工夫を学ぶことができた。
- 慈光園の職員も、普段とは違う子供たちの新たな一面を見ることができ、今後の指導に生かしたいとの声をいただいた。

